

アスム療育・研修センター セミナー申込票

申込先FAX番号 0224-87-8221

申込から1週間以内にお振込下さい。振込を確認した時点で受付となり、ご希望された連絡先への通知で受付完了となります。

「基礎コース（春季）」 （定員：25名）	
会場：仙都会館（仙台市青葉区中央二丁目2-10） 講師：大宮 弘人（総合療育コンサルタント・代表取締役） 猪又 初恵（総合療育コンサルタント・臨床心理士） 片瀬 道（総合療育コンサルタント・臨床心理士）	
※受講する箇所に「○」をつけてください	
基礎コース1：「自閉症の障がい特性、共同療育者としての親の存在」 2017年5月21日（日） 10:00～12:00 受講料：5,000円	<input type="checkbox"/>
基礎コース2：「自閉症支援の実際、家庭での実践」 2017年6月11日（日） 10:00～12:00 受講料：5,000円	<input type="checkbox"/>

ふりがな		住所	〒□□□-□□□□
氏名		住所	
電話番号		所属	○でお囲み下さい 保護者 支援者 関係者 その他
FAX番号		所属	
Eメール	※受付の連絡方法をEメールでご希望の方は、必ずご記入下さい。		
受付完了 連絡方法	○でお囲み下さい TEL・FAX・メール・その他（ ）	振込名義	※申込者と名義が異なる方は、必ずご記入ください。

お客様よりお預かりした個人情報は、アスム療育・研修センターからのご連絡・ご案内・各種資料の送付に利用させていただきます。また、これらの個人情報はご提供いただく際の目的以外では使用いたしません。

申込方法について

申込は、FAXまたはEメールで受付いたします。（ホームページからも申込いただけます。）申込から1週間以内にお振込みをお願いいたします。振込を確認した時点で受付となり、記載いただいた連絡先への通知をもって受付完了となります。（入金から3営業日を過ぎても入金完了の連絡が届かない場合は、弊社までご連絡ください。）連絡先がない場合、受付をいたしませんのでご注意ください。FAXの場合、こちらの研修会申込票に必要事項をご記入の上、お申し込みください。メールの場合、infotop@asem-center.net に必要事項を入力してください。件名には、「セミナー申込」とお書きください。本文には、「講座名」、「氏名（ふりがな）」、「所属」、「住所」、「連絡先」を記載してください。また、申込者と振込名義が異なる方は、必ず「振込名義」を記載してください。受講料は、銀行振込前払いのみとさせていただきます。（会場でのお支払いは、受付いたしません。）振込は、開催日の前日確認分まで受付いたします。キャンセルについて、単発研修およびスポット受講の場合は開催3日前までの連絡に限り返金いたします。連続受講される方につきましては、第1回開催3日前までの連絡に限り返金対応とさせていただきますのでご注意ください。連続受講中の途中キャンセルの場合につきましても、準備の都合上、残額返金はできかねますのでご了承下さい。返金手数料は、差し引かせていただきますのでご了承下さい。

お振込先：七十七銀行 槻木支店(804) 普通 9101888 株式会社アスム療育・研修センター

株式会社アスム療育・研修センター
 宮城県柴田郡柴田町槻木上町1-1-71
 TEL 0224-87-8220 FAX 0224-87-8221
 infotop@asem-center.net
 http://www.asem-center.com/

アスム 自閉症 🔍 検索



支援に絶対不可欠である基本的な考え方を「知識」として習得し支援の有意義なスタートを切るまさに「必須」セミナーです



基礎コース 自閉症支援

主催 アスム療育・研修センター



支援に必須の知識が身につく！ あなたの基礎力向上のために アスムが全力サポートします！

会場・定員・受講料

会場：仙都会館（仙台市青葉区中央二丁目2-10）
 定員：25名（定員になり次第受付終了となります）
 受講料：基礎コース1・2ともに5,000円

講師

大宮 弘人（総合療育コンサルタント・弊社代表取締役）
 猪又 初恵（総合療育コンサルタント・臨床心理士）
 片瀬 道（総合療育コンサルタント・臨床心理士）

日時

・基礎コース1
 2017年5月21日（日）10:00～12:00
 ・基礎コース2
 2017年6月11日（日）10:00～12:00

お問い合わせ

株式会社アスム療育・研修センター
 電話 0224-87-8220
 FAX 0224-87-8221
 メール infotop@asem-center.net

自閉症を知るということは、自閉症に関わる人“全てに不可欠な要素”なのです！ 本コースでは、自閉症の障がい特性・学習スタイルを具体的に学んでいきます。

自閉症支援について重要なことは、 一人ひとりに合わせた オーダーメイドであることなのです！

ご家族、支援者、何らかの形で自閉症のある人たちと関わりのある方々にとって、自閉症の障がい特性を知ることは欠かすことができません。自閉症をどう理解するかについて、的確な認識をもつことは支援の重要な出発点です。

豊富で身近な事例を通して、私たちは自閉症というものをわかりやすくお伝えします。講義を聴き終わった時にはそれまでとは違った自閉症観があなたの中に根付き始めることと思います。自閉症の本当の姿を知る時、彼らの困難さと素晴らしさをあらためて知ることになります。

基本の話は繰り返し聴くのがいい。実践が深まれば深まるほど基本の話は身に染みる。そんな経験を提供します。

自閉症スペクトラムのお子さんに関わる全ての方々必聴！

『親は共同の療育者』この言葉の本当に意味するところを 様々な体験をもとに、弊社代表取締役・大宮弘人が語ります！

自閉症支援において、一人ひとりに合わせたオーダーメイドであることの重要性を、現場での豊富な事例をもとに具体的に解説します。さらに、家庭ならではの実践における「リアル」にも迫ります！

保育士、教員、施設職員そしてご家族の方々、自閉症に関わる人であれば、この基礎的な学びは必須です！基礎を学ぶと、次からの学びがより一層豊かになります。今後学びを深める方々にとっては、ここがスタートです。学びが進んでいる方々にとっても、基本的なことを再確認する絶好の機会です。単なる how to を知るのではなく、支援の考え方が根本にあるということを数々の事例と共にお伝えします。講義を聴き終わった時には、「こんなことをしてみよう」「あんな工夫ができるかな」と、ご自分の身近にいる自閉症の人を思い浮かべ彼らに会うのが楽しみになる…そんな時間をご提供します。

さらに、弊社代表取締役・大宮弘人が保護者の視点から家庭生活の中に溶け込んだ様々の支援について語ります。支援者でもあり、保護者でもある大宮が、わが子の特性理解の過程で専門家とどのように共同していったのか、またそれが支援者になる道にどうつながり今があるのかを語ります。



特性を知れば
支援が知りたくなる
個別の特性を知る
方法を学びたくなる
困難に向き合った
親の話が聴きたくなる



講座内容

基礎コース1：「自閉症の障がい特性、共同療育者としての親の存在」

日時：2017年5月21日（日）10:00～12:00

講義：自閉症の障がい特性・学習スタイル、共同療育者としての親の存在

講師：大宮 弘人（総合療育コンサルタント/弊社代表取締役）、猪又 初恵（総合療育コンサルタント/臨床心理士）

基礎コース2：「自閉症支援の実際、家庭での実践」

日時：2017年6月11日（日）10:00～12:00

講義：障がい特性に基づいた支援の実際、家庭での実践

講師：大宮 弘人（総合療育コンサルタント/弊社代表取締役）、片瀬 道（総合療育コンサルタント/臨床心理士）

※アカデミーの各講座を受講ご希望の方は、春季・秋季いずれかのコース受講をお勧めします。
なお、春季と秋季の内容は同じです。（秋季のご案内は、別途行います。）

講師紹介



大宮 弘人

アスム療育・研修センター代表取締役
総合療育コンサルタント
(AASEM 認定プロフェッショナル)

弊社代表取締役。自閉症児保護者。元・就労継続支援施設指導員。良質の自閉症支援を本人・家族・支援者に伝えるため、2015年4月に(株)アスム療育・研修センターを設立。各種セミナー、研修会、講演会における講師活動及び学童期におけるライフスキルトレーニングや、成人施設のコンサルテーション支援も行う。



猪又 初恵

総合療育コンサルタント/臨床心理士
(AASEM 認定プロフェッショナル)

弊社コンサルテーション部門責任者。障害児とその保護者に関わる職員に対し、発達障害児保育、保護者支援、ユニバーサルデザイン保育などについて現場改善につながる実践を作り出すコンサルテーションを県内外で行っている。また強度行動障害等のコンサルテーションで成人施設にも出向き、支援者支援を中心に行う。



片瀬 道

総合療育コンサルタント/臨床心理士
(AASEM 認定プロフェッショナル)

弊社アカデミー長。研修部門責任者でありアスム・アカデミーを統括するとともに、宮城県教育庁、宮城県子ども総合センター他、各方面での研修講師を務める。県内外の保育所から成人施設、あるいは特別支援学校外部専門家として幅広くコンサルテーションに出向き、家族支援までを含めた支援者支援も行う。

受講生からの声

知っているようでも、知らないことがたくさんあった。
知ることで架け橋になる、自分もそうなりたかった。
親ごさんの話には、思わず引き込まれてしまった。リアルな他ではなかなか聞けない話だった。
これまで知っていた自閉症支援とは一味違う。本当の意味を知った気がする。
工夫する・子どもに寄り添う・強みという捉え方で支援を見直すことなど、新鮮な視点がたくさんあった。
ライフスキルが大事だとわかった。今すぐにでも始めたい。

Voice